

### 令和7年4月臨時会で新しい議長と副議長が決まりました

令和7年4月臨時県議会(会期 4月22日～4月24日)において、正副議長の選挙が行われ、第56代議長に宮原真一議員及び第86代副議長に八谷克幸議員が就任されました。

また、競馬組合議会議員の選挙、各常任委員会、各特別委員会及び議会運営委員会の委員の選任並びに正副委員長の互選が行われました。

※委員会構成等は8ページに記載しています。



議長  
宮原 真一



副議長  
八谷 克幸

### 令和7年 2月定例会 概要(会期 2月14日～3月17日)

令和7年2月定例会県議会では、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に、本県の飛躍のため、時代に即した施策を時機を逃さず実施するための令和7年度当初予算案について、提出された17件の予算案が原案のとおり可決されました。

また、令和6年度補正予算案については、提出された17件の予算案が原案のとおり可決されました。

#### ○令和7年度当初予算関係

- ・令和7年度一般会計予算(総額約5,130億2,100万円、対前年比1.4%減) など計17件

#### ○令和6年度補正予算関係

- ・令和6年度一般会計補正予算(減額後総額約5,456億3,800万円、対前年比3.9%減) など計17件

### 令和7年2月定例会で条例などが次のとおり可決されました

#### ■ 条例 (23件可決)

##### ○佐賀県有明海漁業振興・補償基金条例

【内容】 有明海漁業の振興を長期的かつ安定的に図るため、基金を設置するもの。

##### ○SAGAスポーツピラミッド構想推進条例

【内容】 SAGAスポーツピラミッド構想の政策的かつ計画的に推進し、スポーツの力を生かした世界に誇れる人づくり及び地域づくりを進めるもの。

他21件

#### ■ 意見書 (3件可決)

##### ○性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

##### ○日米地位協定の見直しを求める意見書

##### ○適格請求書等保存方式(インボイス制度)の見直しを求める意見書

その他の議案等はこちら→

令和7年2月定例会  
議案採決結果一覧表 (PDF)



### 「自由民主党ネクストさが」の会派届が提出されました

令和7年4月1日付で「自由民主党佐賀県議会議員団」から石倉秀郷議員ほか10名の退会に伴う、「会派所属議員数変更届」が提出され、新会派「自由民主党ネクストさが」の会派届が提出されました。

なお、4月1日現在の各会派の所属議員数は、自由民主党17人、自由民主党ネクストさが11人、県民ネットワーク6人、公明党2人、日本共産党1人となります。

#### ○自由民主党ネクストさが

- ・石倉 秀郷 ・土井 敏行 ・岡口 重文 ・原田 寿雄 ・八谷 克幸 ・定松 一生
- ・池田 正恭 ・弘川 貴紀 ・古賀 和浩 ・一ノ瀬 裕子 ・田中 秀和

主な内容

・令和7年2月定例会・4月臨時会の概要など ..... 1  
・本会議質問 主な代表質問と15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨 ..... 2～5  
・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など ..... 6～7  
・委員会構成など ..... 8

「佐賀県議会 映像配信」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会 検索



議案に対する議員の表決態度(賛否)は、県議会ホームページで公表しています。(佐賀県議会 → 議案等の審議結果 → 議案件名一覧)



## 質問議員

※質問順

※令和7年2月定例会会当時の所属会派を記載しています。

### 代表質問

2月21日(金)

- 土井 敏行 (自由民主党)
- 野田 勝人 (県民ネットワーク)

### 一般質問

2月26日(水)

- 木原 奉文 (自由民主党)
- 江口 善紀 (県民ネットワーク)
- 木村 雄一 (公明党)
- 岡口 重文 (自由民主党)
- 一ノ瀬裕子 (自由民主党)

2月27日(木)

- 石丸 太郎 (自由民主党)
- 藤崎 輝樹 (県民ネットワーク)
- 富田 幸樹 (自由民主党)
- 池田 正恭 (自由民主党)
- 酒井 幸盛 (県民ネットワーク)

2月28日(金)

- 猪村利恵子 (自由民主党)
- 八谷 克幸 (自由民主党)
- 桃崎 祐介 (自由民主党)
- 宮原 真一 (自由民主党)
- 古川 裕紀 (自由民主党)

## 政策・総務



### 今後の県政運営について



知事就任10年、自発の地域づくりや国の根幹に係る国会議員の定数問題なども含め知事の目指す地方創生とは何か。また、3期目の折り返しを迎える中、これまでの成果や3期目の残り2年についてどのように県政運営に当たっていくのか。

どの問題を議論していくことになるができるのだろうか。今後とも、強く警鐘を鳴らしていきたい。

10年の成果について、道半ばだが、最近若い人達が佐賀を好きと言ってくれているように感じる。一つ一つ種をまいてきたことが実りつつあるようにも感じるし、実らせなければいけない。「肥前さが幕末維新博覧会」、SAGAアリーナ、「SAGA2024」など、様々なソフト・ハードの取組みを、一過性ではなくその先の人づくり、新たな価値の創造につなげていかなければいけない。



知事就任以来、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を県政の基本理念として行ってきた。今後、気候変動や国際社会の分断など様々な不確実性が増していく中で、佐賀県の中で人材が育成され、イノベーションを起こし、佐賀の地から新たな価値をつくっていくきたいと考えている。その先には、楽しみな佐賀の未来があると信じている。



今後の県政運営についてどのように考えているのか。



今回、当初予算の編成に当たっては、国庫支出金や交付税措置がなされている地方債を最大限活用できるようにするなど、あらゆる財政的工夫を行っていききたい。



地方創生は、地域が地域の実情を踏まえ、自らが考えていくという視線が大切。この自発が地方を成長に導く。食料安全保障の重要性も高まっているが、食料で国家を支えているのは地方。一方で、日本の方向性を決める国会議員の定数は、衆議院小選挙区では九州7県と東京都が同じ30。現行のままでは食料を供給できない都市部の議員が、食や農な

県民の県立大学への理解について



昨年12月に行われた県民世論調査によると、県立

大学構想に対して賛成が47%、反対が25%であり、県民の理解が広く進んでいるとは到底思えない。

県民の理解は深まっていると考えているのか。



県立大学はこれからの佐賀県の未来をつくる上で欠かせない必要な機能であると考えており、一つ一つ段階を踏んで開学に向けた準備を進めている。

県民の皆様には一定程度理解されているものと思うが、県立大学特有の意義や果たすべき役割を伝え、さらに理解が深まっていく努力をしていきたいと考える。

県立大学に多くの人が様々なスタイルで関わることが県民の参画につながり、さらにいい大学になるものと考えするため、広報、情報提供については、世代や業種など

に応じてそれぞれの関心事に伝えられるようにするとともに、メディア、SNS、シンポジウムなど、やり方も工夫したい。

佐賀駐屯地(仮称)周辺の環境配慮について



佐賀駐屯地(仮称)の開設が目前に迫り、騒音など周辺環境について不安を感じる方も多くなると思う。防衛省は周辺環境に対してどのような配慮を行っているのか。



本年1月末に防衛省から示された駐屯地における航空機の運用計画案では、騒音に配慮し住宅の少ない空港南側の飛行を基本とすること、有視界飛行時の円滑な離着陸のために設定される

場周経路上では高度300メートル以上、場周経路外では高度500メートル以上を確保すること、必要に応じて住宅地や病院などの上空の飛行を回避することなど周辺地域の環境への配慮が示されている。

騒音や大気質への影響についても、シミュレーションなどによる予測結果を示した上で、どちらも周辺環境に与える影響は少ないとしている。

引き続き防衛省には周辺環境に配慮し、一つ一つ丁寧な対応を行っていくよう求めている。

県民環境



有明海再生加速化対策  
交付金について



12月の政府予算案では、既存の有明海特措法に基

づく有明海再生事業に加え、新たに有明海再生加速化対策交付金が創設された。

県はこの交付金にどう対応していくのか。



この交付金は、これまでの有明海再生事業における調査や技術開発などの知見を活用し、漁業環境改善や水産資源回復

の加速化のための取組みに対して支援するものだが、交付金を活用した具体的な取組み内容は、今後、有明海漁協が検討し、決定されることになる。

県としては、これまで二枚貝の生息環境改善や、より効率的な採苗技術の開発などを行ってきた。また、今年度からは新たに佐賀大学などと連携し、精度の高い海況予測システムの開発や、ノリ網を冷凍庫に入れる前に水槽内で色落ちを回復させる技術の開発にも取り組んでおり、こうしたことも含め、技術的な助言も行いながら、漁協に寄り添って対応していくこととしている。



冷凍入庫前のノリの色揚げ試験の様子  
(有明水産振興センター)



# 健康福祉



## 情報保障サポーターの育成について

**問** 県は、「SAGA2024」において\*情報保障サポーターとして活躍した方々の今後の活動を支援すると聞いている。手話通訳や要約筆記に携わる人材の裾野拡大などにつながるものが期待されるが、情報保障サポーターの育成をどのように行うのか。

**答** 情報保障サポーターに今後存在になってもらえるよう、県内の手話サークルや要約筆記団体に全面的に協力いただき、スキルや習熟度に合わせた学習会を県内全域で開催することとしている。

さらに、一定の技術を身につけた後、実践を通じた学びを得てもらうために、スポーツ大会や各種イベントなどに派遣される手話通

訳者や要約筆記者と一緒に活動してもらったことも考えている。



\*情報保障サポーター  
聴覚障害のある方への情報提供やコミュニケーション支援を行う方々。

# 産業労働



## コスメティック構想の推進について

**問** \*コスメティック構想の展開に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** これまでの取組みでコスメティック構想の推進について、今後は、多岐にわたる分野において、令和7年度はコスメ企業だけでなく、異業種や学生、生産者も含めてコスメビジネスに熱意がある方が参加、交流できる機会をさらに創出する。そこに専門家も加わりコスメと異業種のコラボなど、ア

イデアを新事業につなげるチャレンジを後押ししていく。さらに海外展開も推進し、コスメ企業とのネットワーク拡大や企業誘致を進めるため、コスメの取り組みや成果、今後の展開などを国内外に情報発信していく。



\*コスメティック構想  
唐津市や玄海町を中心とする北九州地域にコスメティック産業を集積させ、コスメに関連する自然由来原料の供給地となることを目指す構想。

## コスメティック構想10年の成果 | 佐賀県内の化粧品生産額の推移



(経済産業省生産動物態統計調査をもとに佐賀県コスメティック産業推進室作成)

# 農林水産



## イチゴの生産振興への取り組みについて

**問** 佐賀県のイチゴの主力品種である「いちごさん」は、収益性が高いものの、最近の夏場の高温により生育が遅れ、年内の出荷量に大きく影響したと聞いており、対応を急ぐ必要があると考える。また、リスク分散の観点から様々な品種を組み合わせた経営も考える必要があると思う。今後、イチゴの生産振興にどのように取り組んでいくのか。

**答** 令和6年産において、JAなどと連携し、\*高温対策技術の導入を推進してきた。

また、冷蔵庫などで苗を強制的に冷却する株冷処理技術の現地実証を行ったところ、生育が促進される効果が見られたことから、令



※高温対策技術  
通常よりも生育を早める生産資  
材の活用などを指す。



J Aさが予冷库での冷蔵の様子（株冷処理）

和7年産での取組みを拡大してい  
くこととしている。  
現在、「いちごさん」を主力品  
種に絞ることで収穫管理やパック  
詰め作業を大きく簡素化できてお  
り、ブランド力を生かしたPRも  
行えていることから、まずは「い  
ちごさん」の高温対策を優先して  
進めることとしている。

## 県土整備



### 道路陥没事故への対策について

**問** 今年1月には埼玉県八潮  
市で痛ましい道路陥没事  
故が発生したが、それを踏ま  
え、県ではどのように取り組  
んできたのか。



**答** 県内の下水道施設は全て市  
町が管理している。管路の  
ほとんどが口径60センチメートル  
未満と小さく、多くの市町は平成  
10年代を中心に供用開始されてお  
り、比較的新しい状況である。

よって本県において同じような  
事案が起こるとはにはわかには考え  
にくい。下水道事業の運営主体  
である県内17市町に対しては、布  
設後相当年数を経過している管路  
について点検の頻度を増やすこと  
や、万一、異常が発見された場合  
は速やかに補修や修繕を行うこと  
など、下水道管の破損に起因する

道路陥没事故の未然防止を要請し  
たところである。

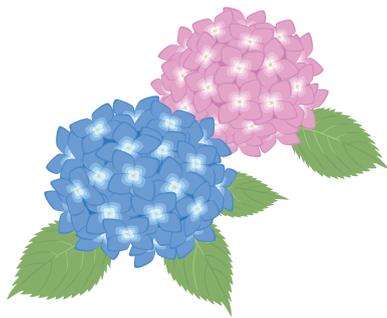
この他、県政全般について幅  
広い議論が行われました。

#### 【主な質問項目】

- ・介護支援専門員（ケアマネ  
ジャー）の更なる負担軽減に  
ついて
  - ・南海トラフ巨大地震について
  - ・肉用牛の振興について
  - ・県内における保育の提供体制  
について
  - ・不登校対策について
- など



各議員の質問一覧は  
「佐賀県議会映像配信」で  
ご確認ください。



## 佐賀県をもっと知るため 議会を傍聴しよう!

みなさまの傍聴を  
お待ちしております!



インターネットでも  
本会議、  
各委員会の様子を  
リアルタイムで  
視聴できます。

県議会の本会議や常任委員会、特別委員会はどなたでも傍聴でき  
ます。

また、車椅子利用者、介助者各5名分用のスペース、音声自動認識  
技術（UDトーク）による字幕表示モニターもあります。

受付開始 午前9時頃  
受付場所 議会棟1階

※車でお越しの方は、  
県庁来訪者駐車場をご利用ください。

### 傍聴中の託児もできます!

傍聴希望日の1週間前までに  
議会事務局までお申し込みください。



対象 生後6カ月～小学校就学前  
問合せ 0952-25-7215（議会事務局 総務課）



総務常任委員会

付託議案24件が原案可決、3件が同意されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・佐賀県有明海漁業振興・補償基金条例（案）
- ・副知事の選任について

【主な質疑事項】

- ・肥前鹿島駅エリアプロデュース事業について
- ・情報公開について
- ・地域警察運営規則の一部改正について
- ・有明海漁業振興・補償基金（案）について など

【現地視察の様子】



鳥栖駅東側エリア（鳥栖駅東側エリア活用創出チャレンジ事業費の概要等について）

文教厚生常任委員会

付託議案17件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・佐賀県立学校設置条例の一部改正

【主な質疑事項】

- ・有機フッ素化合物（PFAS）について
- ・支援を必要とする子育て世帯への取組みについて
- ・少人数学級の取組みについて
- ・少子化対策について
- ・生徒の英語力向上について など

【現地視察の様子】



有田工業高校 ありこや（地域みらい留学生のための住まい整備について）

農林水産商工常任委員会

付託議案19件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・佐賀県奨学金返還支援基金条例（案）
- ・県営土地改良事業に対する市町の負担について

【主な質疑事項】

- ・コスメティック構想のこれまでの取組みと今後について
- ・イノシシ対策について
- ・ノリの安定生産に向けた今後の取組みについて など

【現地視察の様子】



吉牟田園芸（農業分野における働き方改革への取組みについて）

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案10件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- ・一般会計（当初・補正）予算関係分
- ・佐賀空港条例の一部改正

【主な質疑事項】

- ・SSP部活動サポートプロジェクト事業について
- ・むしろこれから鹿島・太良プロジェクト推進事業について
- ・建築基準法改正について など

【現地視察の様子】



吉野ヶ里歴史公園（発掘調査状況と新たな活用の概要について）

佐賀空港・有明海問題対策等  
特別委員会

駐屯地整備工事の現況等について現地視察を行い、その後、九州防衛局企画部長の中辻綾太氏ほか4名を参考人として招致し、質疑を行いました。

【主な質疑事項】

- ・駐屯地開設に合わせた住民からの相談窓口の設置
- ・オスプレイの飛行訓練ルート
- ・日米共同訓練に加わる可能性
- ・コハダ、コノシロへの影響調査の状況と補償の考え方 など

【現地視察の様子】



九州佐賀国際空港 展望デッキ  
(駐屯地整備に係る工事の現況等について)

新幹線問題対策等  
特別委員会

「九州旅客鉄道株式会社」を訪問し、J R九州の鉄道事業の状況等について説明を受け、質疑や意見交換を行いました。

【現地視察の様子】



九州旅客鉄道株式会社  
(J R九州の鉄道事業の状況等について)

高等教育機関問題対策等  
特別委員会

県立大学検討に係る専門家チームリーダーの山口和範氏を参考人として招致し質疑を行い、その後、執行部に対する委員会審議を行いました。

【主な質疑事項】

- ・入学者選抜の方向性や、教育確保の見通し
- ・県民にとって大学設置が必要な理由や目的
- ・県立大学の設置に慎重な意見を持つ県民に対するアプローチや広報の考え方
- ・小・中学生が普段使いできる大学の具体的な利用方法
- ・県全体をフィールドとした学生の活動拠点となるベースキャンプの設置場所や運営上の課題
- ・県立大学で掲げる探求学習に対する高大連携などの県教育委員会の考え など



佐賀県議会会議録

平成11年以降の  
会議録を検索できます



インターネット中継

本会議(委員会)の様子を  
リアルタイムで視聴できます  
(開会中のみ)



録画放送

インターネット中継の日から  
4営業日後を目途に  
公開しています(土日祝除く)

令和元年以降の  
映像を公開  
しています!





## 委員会構成等



◆議長：宮原 真一 副議長：八谷 克幸（ともに令和7年4月24日選出）

### ◆常任委員会

委員会名（定数）	委員長	副委員長	委員（年齢順）
総務常任委員会 （10人）	中村 圭一	徳光 清孝	大場 芳博、土井 敏行、木原 奉文、江口 善紀、坂口 祐樹、一ノ瀬 裕子、木村 雄一、青木 一功
文教厚生常任委員会 （9人）	古川 裕紀	池田 正恭	原田 寿雄、中本 正一、猪村 利恵子、田中 秀和、指山 清範、藤崎 輝樹、古賀 陽三
農林水産商工常任委員会 （9人）	弘川 貴紀	桃崎 祐介	武藤 明美、石倉 秀郷、定松 一生、西久保 弘克、藤木 卓一郎、宮原 真一、下田 寛
地域交流・県土整備常任委員会 （9人）	富田 幸樹	古賀 和浩	石井 秀夫、留守 茂幸、八谷 克幸、酒井 幸盛、岡口 重文、野田 勝人、石丸 太郎

### ◆議会運営委員会（定数11人）

委員長	副委員長	委員（年齢順）
藤木 卓一郎	田中 秀和	大場 芳博、原田 寿雄、野田 勝人、定松 一生、富田 幸樹、西久保 弘克、坂口 祐樹、青木 一功、下田 寛

### ◆特別委員会

委員会名（定数）	委員長	副委員長	委員（年齢順）
佐賀空港・有明海問題 対策等特別委員会（12人）	石倉 秀郷	青木 一功	留守 茂幸、武藤 明美、岡口 重文、野田 勝人、定松 一生、富田 幸樹、田中 秀和、江口 善紀、坂口 祐樹、石丸 太郎
新幹線・地域交通問題 対策等特別委員会（11人）	指山 清範	藤崎 輝樹	石井 秀夫、木原 奉文、池田 正恭、徳光 清孝、中本 正一、弘川 貴紀、古賀 和浩、西久保 弘克、桃崎 祐介
高等教育機関問題 対策等特別委員会（12人）	一ノ瀬 裕子	猪村 利恵子	大場 芳博、酒井 幸盛、土井 敏行、原田 寿雄、藤木 卓一郎、中村 圭一、木村 雄一、古川 裕紀、古賀 陽三、下田 寛

◆監査委員（定数1人）指山 清範（令和7年4月24日選任）

◆競馬組合議会議員（定数3人）留守 茂幸、徳光 清孝（ともに令和5年5月11日選出）、坂口 祐樹（令和7年4月24日選出）

佐賀県議会事務局政務調査課  
〒840-8570 佐賀市内一丁目1番45号

TEL 0952-25-7306 FAX 0952-25-7279  
E-mail gikai@pref.saga.lg.jp  
ホームページ https://www.pref.saga.lg.jp/gikai/

お読みになった  
ご感想やご意見を  
お寄せください

「さが県議会だより」  
の次号は、9月1日発行です。

UD FONT  
風やまい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

## 大学生の皆さんとの 意見交換会を開催しました!!



HPにも  
掲載して  
います



3月に佐賀大学の学生の皆さんと県議会議員との意見交換会を開催しました。

学生と議員でグループをつくり、「若者の政治参加について」、「佐賀県の魅力PRと情報発信について」のテーマについてそれぞれ意見を交換しました。

「若者の政治参加について」では、若者にも親しみやすい分野に対して、わかりやすいコンテンツを作ってはどうかなど学生から見た政治や行政のイメージについて、様々な視点から意見が交換されました。

